

1)キャベツ現地検討会結果報告書(北海道下)



開催日:平成 26 年8月 27 日(水)

開催場所:北海道河西郡芽室町内キャベツほ場及び芽室町中央公民館

出席者:119 名(生産者、農業者団体、行政機関、野菜実需者、農業機械メーカー 等)

【検討会内容】

1 キャベツ収穫機実演

- ・芽室町内キャベツほ場で、地元生産者によるキャベツ収穫機(ヤンマー)による収穫の実演を行った。
- ・ヤンマー株式会社担当者から収穫機及び機械収穫について説明があった。
- ・実演者及びヤンマー株式会社と参加者の間で、質疑応答(傾斜地での収穫等)を行った。



2 セミナー

芽室町中央公民館でセミナーを開催した。

1)あいさつ 農林水産省 園芸作物課 園芸流通加工対策室長 岡田 正孝 氏

2)事務連絡 野菜ビジネス協議会 理事 戸谷 亨

3)講演

(1)キャベツ機械収穫体系とその効率的運用について

(独)農業・食品産業技術総合研究機構

北海道農業研究センター畑作研究領域 主任研究員 若林 勝史 氏

(2)加工・業務用キャベツに望む品質等

株式会社 彩喜 取締役社長 木村 幸雄 氏

(3)JA鹿追町管内における加工・業務用キャベツについて

鹿追町農業協同組合 営農部 農産課 考査役 今田 伸二 氏

(4)キャベツ収穫機の開発過程について

ヤンマー株式会社農機事業本部 顧問 宮永 豊司 氏

4)質疑応答

キャベツ以外の品目での機械の開発予定等について質疑が行われた。

2)キャベツ現地検討会開催要領(北海道下)

1 趣 旨

重要な加工・業務用野菜であるキャベツの生産拡大を図るため、機械化一貫体系が進められているが、一連の作業の中でも特に難しい課題であった収穫機については、農林水産省が農業新技術 2013 に選定するとともに、販売が開始されており、実用化に向けて大きく動き出している。

キャベツ機械収穫機を普及させ、加工・業務用キャベツの生産・流通を図るため、キャベツの大規模産地である北海道十勝地域において農機メーカー、研究・指導機関、生産者、実需者等の幅広い参集のもと、キャベツ機械収穫実演及びセミナーを開催する。

2 日 時 平成 26 年 8 月 27 日(水) 13:00 ~ 16:40

3 場 所

(1)キャベツ生産ほ場における機械収穫の視察:

北海道河西郡芽室町 高橋光男様キャベツほ場内

(2)セミナー:芽室町中央公民館1階大ホール

北海道河西郡芽室町東3条3丁目 TEL:0155-62-4680

4 主催者 野菜ビジネス協議会(補助事業の実施主体)

5 共 催 芽室町農業協同組合、(一社)日本施設園芸協会、青果物カット事業協議会
青果物選果予冷施設協議会

6 参集範囲

- ① 芽室町農業協同組合員
- ② 野菜関係者(農業生産法人等生産者、JA関係者、研究・行政関係者、農業機械関係者等)
- ③ 野菜ビジネス協議会・青果物カット事業協議会・青果物選果予冷施設協議会の会員
- ④ 農林水産省
- ⑤ その他(全国の加工・業務用野菜関係者、JA関係者、研究・行政関係者 等)

7 集合場所及び集合時刻

芽室町中央公民館前駐車場 13:00 集合

8 開催内容とスケジュール(以下、時間はおおよその目安)

《移 動》集合場所からキャベツ機械収穫ほ場へ

- 13:20 キャベツ機械収穫実演ほ場
13:25 挨拶、スケジュール説明等
13:30 ~ 14:10 キャベツの機械収穫の視察

《移 動》芽室町中央公民館1階大ホールへ

14:40 ~ 16:40 セミナー

- ① キャベツ機械収穫体系とその効率的運用について(30分)

(独)農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター畑作研究領域

- ② 加工・業務用キャベツに望む品質等(15分)

サンポー食品株式会社 常務取締役 野口 修 氏

- ③ JA鹿追町管内における加工・業務用キャベツについて(30分)

鹿追町農業協同組合 営農部 農産課 考査役 今田 伸二 氏

- ④ キャベツ収穫機の開発過程について(15分)

ヤンマー株式会社農機事業本部 顧問 宮永 豊司 氏

- ⑤ 質 疑 応 答(30分)

3)キャベツ現地検討会結果報告書(岩手県下)



開催日:平成 26 年 10 月 10 日(金)

開催場所:岩手県岩手郡岩手町内キャベツほ場及び「プラザあい」

出席者:131 名(生産者、農業者団体、行政機関、野菜実需者、農業機械メーカー 等)

【検討会内容】

1 キャベツ収穫機実演

- ・岩手町内キャベツほ場で、ヤンマー株式会社によるキャベツ収穫機(ヤンマー)を使用した収穫の実演を行った。
- ・ヤンマー担当者から収穫機及び機械収穫について説明があった。



2 セミナー

「プラザあい」でセミナーを開催した。

1)基調講演

加工・業務用野菜の生産・供給について

農林水産省 農林水産政策研究所 上席主任研究官 小林 茂典 氏

2)話題提供

盛岡地域における加工・業務用キャベツの取り組み

岩手県 盛岡広域振興局 農政部 主任主査 阿部 哲哉 氏

3)パネルディスカッション

●パネラー

岩手県岩手郡岩手町

キャベツ生産者 三浦 正美 氏

岩手県盛岡広域振興局農政部

主任主査 阿部 哲哉 氏

サンポー食品株式会社

常務取締役 野口 修 氏

横浜丸中青果株式会社

取締役主管 岡田 貴浩 氏

ヤンマー株式会社農機事業本部

顧問 宮永 豊司 氏



●コーディネーター

農林水産省 農林水産政策研究所 上席主任研究官 小林 茂典 氏

4)キャベツ現地検討会開催要領(岩手県下)

1 趣 旨

重要な加工・業務用野菜であるキャベツの生産拡大を図るため、機械化一貫体系が進められているが、一連の作業の中でも特に難しい課題であった収穫機については、農林水産省が農業新技術 2013 に選定するとともに、販売が開始されており、実用化に向けて大きく動き出している。

キャベツ機械収穫機を普及させ、加工・業務用キャベツの生産・流通を図るため、キャベツの産地である岩手県岩手地域において農機メーカー、研究・指導機関、生産者、実需者等の幅広い参集のもと、キャベツ機械収穫実演及びセミナーを開催する。

2 日 時 平成 26 年 10 月 10 日(金) 12:20 ~ 16:30

3 場 所

(1)キャベツ生産ほ場における機械収穫の視察:

岩手県岩手郡岩手町 三浦 正美 様 キャベツほ場

(2)セミナー:岩手広域交流センター「プラザあい」多目的ホール

岩手県岩手郡岩手町大字江刈内第6地割 1-4 TEL:0195-62-2121

4 主催者 野菜ビジネス協議会(補助事業の実施主体)

5 共 催 (一社)日本施設園芸協会、青果物カット事業協議会、青果物選果予冷施設協議会

6 参集範囲

① 新岩手農業協同組合員

② 野菜関係者(農業生産法人等生産者、JA関係者、研究・行政関係者、農業機械関係者等)

③ 野菜ビジネス協議会、青果物カット事業協議会、青果物選果予冷施設協議会の各会員

④ 農林水産省(含、東北農政局)

⑤ その他(全国の加工・業務用野菜関係者、JA関係者、研究・行政関係者 等)

7 集合場所及び集合時刻

岩手広域交流センター「プラザあい」前駐車場 12:20 集合

(* 借上げバスを 12:30 に出しますので、ご了承願います。)

8 開催内容とスケジュール(以下、時間はおおよその目安)

《移 動》集合場所からキャベツ機械収穫ほ場へ

- 12:50 キャベツ機械収穫実演ほ場
12:55 スケジュール説明等
13:00 ~ 13:40 キャベツの機械収穫の視察

《移 動》岩手広域交流センター「プラザあい」多目的ホールへ

14:00 ~ 16:30 セミナー

① あいさつ

② 基調講演

加工・業務用野菜の生産・供給について(50分)

農林水産省 農林水産政策研究所 上席主任研究官 小林 茂典 氏

③ 話題提供

盛岡地域における加工・業務用キャベツの取組(25分)

岩手県 盛岡広域振興局 農政部 主任主査 阿部 哲哉 氏

《休 憩》(10分)

④ パネルディスカッション(50分)

●パネラー

岩手県岩手郡岩手町	キャベツ生産者	三浦 正美 氏
岩手県盛岡広域振興局農政部	主任主査	阿部 哲哉 氏
サンポー食品株式会社	常務取締役	野口 修 氏
横浜丸中青果株式会社	取締役主管	岡田 貴浩 氏
ヤンマー株式会社農機事業本部	顧問	宮永 豊司 氏
農林水産省生産局園芸作物課		担当官

●コーディネーター

農林水産省 農林水産政策研究所 上席主任研究官 小林 茂典 氏

⑤ 質疑応答(15分)

5)キャベツ現地検討会結果報告書(千葉県下)



開催日:平成 26 年 12 月 2 日(火)

開催場所:千葉県袖ヶ浦市内キャベツほ場及び袖ヶ浦市根形公民館

出席者:166 名(生産者、農業者団体、行政機関、野菜実需者、農業機械メーカー 等)

【検討会内容】

1 キャベツ収穫機実演

・袖ヶ浦市内キャベツほ場で、キャベツ収穫機(ヤンマー)による収穫の実演を行った(機械操作者:ヤンマー株式会社)。

・キャベツ栽培機械化一貫体系を担う機械として、畦立て機、苗移植機、管理作業車(中耕・除草)、リヤリフト(収穫物運搬)の展示と説明が行われた。

・ヤンマー担当者から収穫機及び機械収穫について説明があった。



2 セミナー

袖ヶ浦市根形公民館でセミナーを開催した。

1)あいさつ

君津市農業協同組合 経済常務理事 石井 米夫 氏

2)講演

(1)加工・業務用野菜をめぐる現状・課題とその対策について

農林水産省 生産局 園芸流通加工対策室 課長補佐 宇井 伸一 氏

(2)JAきみつにおける加工・業務用キャベツの取組み

君津市農業協同組合平川経済センター

品目担当(加工・業務用キャベツ) 池田 貴紀 氏

(3)加工・業務用キャベツのニーズと適性について

株式会社 坂東商会 統括本部製造部マネージャー 出口 隆幸 氏

(4)キャベツ収穫機の開発過程について

ヤンマー株式会社 農機事業本部 顧問 宮永 豊司 氏

3)質疑応答

機械の導入等について、一般参加者との質疑応答及び講師による補足説明が行われた。



6)キャベツ現地検討会開催要領(千葉県下)

1 趣 旨

重要な加工・業務用野菜であるキャベツの生産拡大を図るため、機械化一貫体系が進められているが、一連の作業の中でも特に難しい課題であった収穫機については、農林水産省が農業新技術 2013 に選定するとともに、販売が開始されており、実用化に向けて大きく動き出している。

キャベツ機械収穫機を普及させ、加工・業務用キャベツの生産・流通を図るため、キャベツの産地である千葉県袖ヶ浦地域において農機メーカー、研究・指導機関、生産者、実需者等の幅広い参集のもと、キャベツ機械収穫実演及びセミナーを開催する。

2 日 時 平成 26 年 12 月 2 日(火) 13:00 ~ 16:40

3 場 所

(1)キャベツ生産ほ場における機械収穫の視察:

千葉県袖ヶ浦市管内 中山竜也様 キャベツほ場内

(2)セミナー:袖ヶ浦市根形公民館

千葉県袖ヶ浦市下新田 1277 TEL:0438-62-6161

4 主催者 野菜ビジネス協議会(補助事業の実施主体)

5 共 催 君津市農業協同組合、(一社)日本施設園芸協会、青果物カット事業協議会、
青果物選果予冷施設協議会

6 参集範囲

- ① 君津市農業協同組合組合員
- ② 野菜関係者(農業生産法人等生産者、JA関係者、研究・行政関係者、農業機械関係者等)
- ③ 野菜ビジネス協議会・青果物カット事業協議会及び青果物選果予冷施設協議会の会員
- ④ 農林水産省(含む、関東農政局)
- ⑤ その他(全国の加工・業務用野菜関係者、JA関係者、研究・行政関係者 等)

7 集合場所及び集合時刻

袖ヶ浦市根形公民館 13:00 集合

* JRを利用して内房線袖ヶ浦駅で下車される方は、袖ヶ浦駅北口ロータリーで主催者が用意します借上げバスにお乗り頂けます(12:40 までに集合、バス出発 12:45 * 時間厳守)。終了後は、借上げバスで袖ヶ浦駅までお送りします。

8 開催内容とスケジュール(予定)

《移動》

集合場所からキャベツ機械収穫ほ場へ主催者が用意します借上げバスで移動します。

13:20 キャベツ機械収穫実演ほ場

13:25 スケジュール説明等

13:30 ~ 14:10 キャベツの機械収穫の視察

《移動》セミナー会場へ

14:40 ~ 16:40 セミナー

* 挨拶

① 加工・業務用野菜をめぐる現状・課題とその対策について(20分)

農林水産省 生産局 園芸流通加工対策室 担当官

② JAきみつにおける加工・業務用キャベツの取組み(30分)

君津市農業協同組合平川経済センター

品目担当(加工・業務用キャベツ) 池田 貴紀 氏

③ 加工・業務用キャベツのニーズと適性について(20分)

株式会社 坂東商会 統括本部製造部マネージャー 出口 隆幸 氏

④ キャベツ収穫機の開発過程について(20分)

ヤンマー株式会社 農機事業本部 顧問 宮永 豊司 氏

⑤ 質疑応答(30分)

7)キャベツ現地検討会結果報告書(兵庫県下)



開催日:平成 27 年1月 16 日(金)

開催場所:兵庫県加古川市内キャベツほ場及び「加古川総合文化センター」

出席者:160 名(生産者、農業者団体、行政機関、野菜実需者、農業機械メーカー 等)

【検討会内容】

1 キャベツ収穫機実演

- ・加古川市内キャベツほ場で、ヤンマー株式会社によるキャベツ収穫機を使用した収穫の実演を行った。
- ・ヤンマー担当者から収穫機及び機械収穫、畝立て同時施肥機及びリアリフターについて説明があった。
- ・参加者から収穫機の価格についての質問が出た。



2 セミナー

「加古川総合文化センター」でセミナーを開催した。

1)基調講演

加工・業務用野菜の生産・供給について

一般社団法人 JC総研 6次産業ボランティアプランナー 仲野 隆三 氏

2)話題提供

兵庫県における加工向けキャベツの取り組みについて

JA全農兵庫 園芸部 神戸青果事務所 所長 南 佳宏 氏

3)パネルディスカッション

●パネラー

JA全農兵庫 園芸部 神戸青果事務所 所長 南 佳宏 氏

株式会社 清浄野菜普及研究所 専務取締役 樽本 純生 氏

ヤンマー株式会社 農機事業本部 顧問 宮永 豊司 氏

(独)農研機構 野菜茶業研究所 研究調整役 岡田 邦彦 氏

●コーディネーター

一般社団法人 JC総研 6次産業ボランティアプランナー 仲野 隆三 氏

※コスト削減、鉄コン、適品種、モーダルシフト、収穫機、需給関係について話し合われた。



8)キャベツ現地検討会開催要領(兵庫県下)

1 趣 旨

重要な加工・業務用野菜であるキャベツの生産拡大を図るため、機械化一貫体系が進められているが、一連の作業の中でも特に難しい課題であった収穫機については、農林水産省が農業新技術 2013 に選定するとともに、販売が開始されており、実用化に向けて大きく動き出している。

キャベツ機械収穫機を普及させ、加工・業務用キャベツの生産・流通を図るため、キャベツの新興産地である兵庫県加古川地域において農機メーカー、研究・指導機関、生産者、実需者等の幅広い参集のもと、キャベツ機械収穫実演及びセミナーを開催する。

2 日 時 平成 27 年 1 月 16 日(金) 13:00 ~ 16:40

3 場 所

(1)キャベツ生産ほ場における機械収穫の視察:

兵庫県加古川市八幡町管内(八幡営農組合)

(2)セミナー:加古川総合文化センター大会議室

兵庫県加古川市平岡町新在家 1224-7 TEL:079-425-5300

4 主催者 野菜ビジネス協議会(補助事業の実施主体)

5 共 催 全農兵庫県本部、(一社)日本施設園芸協会、青果物カット事業協議会、
青果物選果予冷施設協議会

6 参集範囲

- ① 野菜関係者(農業生産法人等生産者、JA関係者、研究・行政関係者、農業機械関係者等)
- ② 野菜ビジネス協議会・青果物カット事業協議会及び青果物選果予冷施設協議会の会員
- ③ 農林水産省(含む、近畿農政局)
- ④ その他(全国の加工・業務用野菜関係者、JA関係者、研究・行政関係者 等)

7 集合場所及び集合時刻

兵庫県加古川市八幡町船町 20

JA兵庫南野菜直売所「ふぁ～みん SHOP 八幡」駐車場 13:00 迄に集合

* JRを利用して山陽本線(神戸線)加古川駅で下車される方は、加古川駅北口で主催者が用意します借上げバスにお乗り頂けます(12:35 までに集合、バス出発 12:40

* 時間厳守)。終了後は、借上げバスで加古川駅までお送りします。

8 開催内容とスケジュール(以下、時間はおおよその目安)

《移動》

集合場所からキャベツ機械収穫ほ場へは徒歩で移動します。

13:15 キャベツ機械収穫実証試験ほ場

13:20 スケジュール説明等

13:25 ~ 14:00 キャベツの機械収穫の視察

《移動》

加古川総合文化センター大会議室へ

14:30 ~ 16:40 セミナー

① あいさつ

② 基調講演

加工・業務用野菜の生産・供給について(40分)

一般社団法人 JC総研 6次産業ホランター・プランナー 仲野 隆三 氏

③ 話題提供

兵庫県における加工向けキャベツの取り組みについて(20分)

全農兵庫 園芸部 神戸青果事務所 所長 南 佳宏 氏

《休憩》(10分)

④ パネルディスカッション&質疑応答(60分)

●パネラー

全農兵庫 園芸部 神戸青果事務所	所長	南 佳宏 氏
株式会社 清浄野菜普及研究所	専務取締役	樽本 純生 氏
ヤンマー株式会社 農機事業本部	顧問	宮永 豊司 氏
(独)農研機構 野菜茶業研究所	研究調整役	岡田 邦彦 氏
農林水産省 生産局 園芸作物課		担当官

●コーディネーター

一般社団法人 JC総研 6次産業ホランター・プランナー 仲野 隆三 氏

9)キャベツ現地検討会結果報告書(長崎県下)



開催日:平成27年2月6日(金)

開催場所:長崎県諫早市内キャベツほ場及びホテルグランドパレス諫早

出席者:182名(生産者、農業者団体、行政機関、野菜実需者、農業機械メーカー等)

【検討会内容】

1 キャベツ収穫機実演

・諫早市内キャベツほ場で、有限会社アラキファームによるキャベツ収穫機(ヤンマー)の実演を行った。収穫機上は、2名のスタッフが収穫したキャベツの調製にあたった。

ヤンマー株式会社から収穫機の説明、畝立て同時施肥機・苗移植機・管理機の展示があった。



2 セミナー

ホテルグランドパレス諫早でセミナーを開催した。

1)講演

(1)加工・業務用野菜の生産・供給システムについて

岩手大学 農学部 教授 佐藤 和憲 氏

(2)長崎県における加工・業務用野菜の取組み

長崎県農林部 農産園芸課 主任技師 浜崎 健 氏

(3)キャベツ機械化一貫体系による大規模経営について

有限会社 アラキファーム 取締役 荒木 一幸 氏

(4)加工・業務用キャベツのニーズと適性について

東京デリカフーズ株式会社 取締役 九州事業所長 澤田 清春 氏

2)質疑応答

雨天や傾斜地での収穫機使用の可否、加工・業務用野菜出荷者の組織化、長崎県の加工・業務用野菜の協議会の活動等について、講演者及び委員と参加者との間で質疑応答が行われた。



10)キャベツ現地検討会開催要領(長崎県下)

1 趣 旨

重要な加工・業務用野菜であるキャベツの生産拡大を図るため、機械化一貫体系が進められているが、一連の作業の中でも特に難しい課題であった収穫機については、農林水産省が農業新技術 2013 に選定するとともに、販売が開始されており、実用化に向けて大きく動き出している。

キャベツ機械収穫機を普及させ、加工・業務用キャベツの生産・流通を図るため、キャベツの産地である長崎県諫早地域において農機メーカー、研究・指導機関、生産者、実需者等の幅広い参集のもと、キャベツ機械収穫実演及びセミナーを開催する。

2 日 時 平成 27 年 2 月 6 日(金) 12:40～16:30

3 場 所

(1)キャベツ生産ほ場における機械収穫の視察:

長崎県諫早市干拓地管内 (有)アラキファーム様キャベツほ場内

(2)セミナー:ホテルグランドパレス諫早瑞雲の間

長崎県諫早市宇都町 3-35 TEL:0957-24-3939

4 主催者 野菜ビジネス協議会(補助事業の実施主体)

5 共 催 (一社)日本施設園芸協会、青果物カット事業協議会、青果物選果予冷施設協議会

6 協賛 長崎県

7 参集範囲

- ① 野菜関係者(農業生産法人等生産者、JA関係者、研究・行政関係者、農業機械関係者等)
- ② 野菜ビジネス協議会・青果物カット事業協議会及び青果物選果予冷施設協議会の会員
- ③ 農林水産省(含む、九州農政局)
- ④ その他(全国の加工・業務用野菜関係者、JA関係者、研究・行政関係者 等)

8 集合場所及び集合時刻

ホテルグランドパレス諫早駐車場 12:30 迄に集合

(時間厳守、12:00 に借上げバスを出します)

* JRを利用して長崎本線諫早駅で下車される方は、諫早駅裏ロータリーで主催者が用意します借上げバスにお乗り頂けます。

(12:20 までに集合、バス出発 12:30

* 時間厳守)。終了後は、借上げバスで諫早駅までお送りします。

9 開催内容とスケジュール(以下、時間はおおよその目安)

《移 動》

集合場所からキャベツ機械収穫ほ場へ主催者が用意しましたバスで移動します。

13:10 キャベツ機械収穫実演ほ場

13:15 スケジュール説明等

13:20~14:00 キャベツの機械収穫の視察

《移 動》

ホテルグランドパレス諫早瑞雲の間へ

14:30~16:30 セミナー

① 加工・業務用野菜の生産・供給システムについて(30分)

岩手大学 農学部 教授 佐藤 和憲 氏

② 長崎県における加工・業務用野菜の取組み(20分)

長崎県農林部農産園芸課 主任技師 浜崎 健 氏

③ キャベツ機械化一貫体系による大規模経営について(20分)

有限会社アラキファーム 取締役 荒木 一幸 氏

④ 加工・業務用キャベツのニーズと適性について(20分)

東京デリカフーズ株式会社 取締役九州事業所長 澤田 清春 氏

⑤ 質 疑 応 答(30分)